

報道資料

2016年4月15日

報道関係者各位

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

**PRSJ 認定PRプランナー取得者が累計2,000名を突破  
2,016名の認定PRプランナーが誕生  
～ 2,000人目のPRプランナーは吉村智恵子さん ～  
(資生堂広報部勤務)**

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（理事長：近見 竹彦）は2007年、日本で唯一の広報・PRに関する資格認定制度として「PRプランナー資格認定制度」を発足させましたが、最上位資格となるPRSJ認定PRプランナー認定を受けた登録者数が、このほど累計で2,000名を突破いたしました。

記念すべき2,000人目の認定登録を受けたのは、株式会社資生堂の広報部に勤務する吉村 智恵子さんです。

試験は、基本的な広報・PR知識を問う1次試験、4つの専門的な領域での高度な知識を問う2次試験、さらにニュースリリース作成や広報・PR計画立案などの実務スキルを評価する3次試験により構成されています。

過去18回実施された1次試験の受験者は、広報・PR業務の実務者、学生など7,759名で、第17回までの3次試験を合格した2,016人以上のPRプランナー資格取得者が誕生、企業、団体などの各面で活躍しています。

3次試験の受験者プロフィールをみると、第1回の試験から毎回、一般企業の方が、全体の約6割を占めています。企業の広報部門でPRを担当されている方はもちろんのこと、広報部門以外でも、ビジネスパーソンに求められる広報・PRに関する知識・スキルを持ちたいと考えている方にも、個々の能力判定だけでなく、PR知識やスキルの向上を図るツールとして、開始から10年目を迎えたPRプランナー資格認定制度は確実に定着していることが伺えます。

なお、PRプランナー資格認定検定試験は以下の通りです。

【添付資料】

- 2,000人目取得者 株式会社 資生堂 広報部 吉村 智恵子様コメント
- PRプランナー資格認定検定試験概要
- PRプランナー資格認定検定試験受験者プロフィール（1次試験、3次試験）

●この件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

担当： 福家・宮松

TEL: 03-5413-2148 FAX: 03-5413-2147

Mail: shikaku@prsj.or.jp

URL: <http://pr-shikaku.prsj.or.jp>

## 【PRSJ 認定 P R プランナー 取得者】

### 吉村 智恵子様

株式会社 資生堂  
コーポレートコミュニケーション本部  
広報部



広報のことならこの人に聞けば大丈夫！を目指して  
～ 体系的に学んだことで、自分の仕事に自信が持てました！ ～

現在の主な業務は通信社やブロック紙、地方紙、地方局への情報配信および取材対応と、ブランド・商品広報、美容情報の開発などです。以前は営業の仕事をしており、広報部に異動した当時は広報がどんなことをする仕事なのか知識は殆どありませんでした。上司や先輩、時には記者に、広報の基本を実践で教えてもらったりしながら仕事をしていました。「自分がどれだけレベルアップしているのか



入社後は営業としてドラッグストアなどを担当。2011年10月より広報部。広報部ではコミュニケーション能力の高さを活かし、部内のムードメーカーとして職場の雰囲気盛り上げている。PRプランナーの取得は、2016年3月。

を確認したい」と思っていたところ、上司の紹介でPRプランナーの存在を知り、2015年の8月に1次試験を受験しました。

資格を取得してよかったことは、体系的に学んだことで基本の知識だけでなく、IRやグローバル広報など業務外の知識も身につけることができ、自分の仕事に自信が持てたことです。また名刺に「PRSJ 認定 P R プランナー」と入れたことで、周囲からもきちんと勉強したと認められ、初対面の方との会話のきっかけにもなりました。

私はPRプランナーを取得しましたが、広報・PRの全てがわかったわけではないと思います。今回身につけた知識やこれまでの経験をもとに、今後は、化粧の魅力グローバルレベルで広く伝えていきたいと考えています。弊社が世界中で愛される企業になるために、企業やブランドの力はもちろんですが、広報の存在も欠かせないと思っています。「広報のことならこの人に聞けば大丈夫！」と社内外から頼られるPRパーソンを目指して、日々研鑽に励みます！

## PRプランナー資格認定検定試験概要

### ◇主催・後援

- ・主催： 公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会（略称：PRSJ）
- ・後援： 日本広報学会

### ◇目的

本資格認定制度は以下の3つの目的に基づいて策定されました。

- ・広報・PRパーソンの育成とレベル向上
- ・専門職能としての社会的認知
- ・広報・PR業務の社会的認知の拡大と広報・PRパーソンの社会的地位の確立

### ◇資格と試験

以下の「PRプランナー」と「准PRプランナー」、「PRプランナー補」の3つの資格があります。

#### ○PRプランナー：

日常的な広報・PR実務を幅広くこなし、かつ広報・PR責任者をサポートする知識・提案能力を有することを認定する資格で、下記の1次試験、2次試験、3次試験に合格し、「PRプランナー」取得申請と書類審査を経て取得できます。

#### ○准PRプランナー：

広報・PR実務に必要な専門知識を有することを認定する資格で、広報・PRに関する実務知識を問う1次試験、2次試験4科目合格し、「准PRプランナー」取得申請と書類審査を経て取得できます。

#### ○PRプランナー補：

広報・PR実務に従事するために必要最小限の基礎知識を有することを認定する資格で、広報・PRに関する基礎知識を問う1次試験に合格し、「PRプランナー補」取得申請と書類審査を経て取得できます。

### ◇試験内容

○1次試験：広報・PRに関する基礎知識の有無を筆記試験（マークシート）で評価します。

○2次試験：以下の4つの専門科目についての知識の有無を筆記試験（マークシート）で評価します。

科目A) CSR、IR、危機管理等に関する知識（必須）

科目B) マーケティング、ブランドマネジメントに関する知識（必須）

科目C) 広報・PR実務に関する知識（必須）

科目D) 時事知識（必須）

※受験科目は、4科目一括受験のみとし、合否は、全出題数に対して正答率65%以上かつ各科目の正答率がいずれも50%以上で、4科目合格となります。なお、全出題数に対して正答率65%未満、もしくは1科目でも正答率が50%以上に達しなかった場合は不合格となります。

○3次試験：以下の2つのスキルを記述試験で評価します。

課題A) ニュースリリースの作成

課題B) 広報・PR計画の立案作成

※課題Bは、コーポレート、もしくはマーケティングから選択となります。

## ◇試験実施日程、会場

### ○1次試験

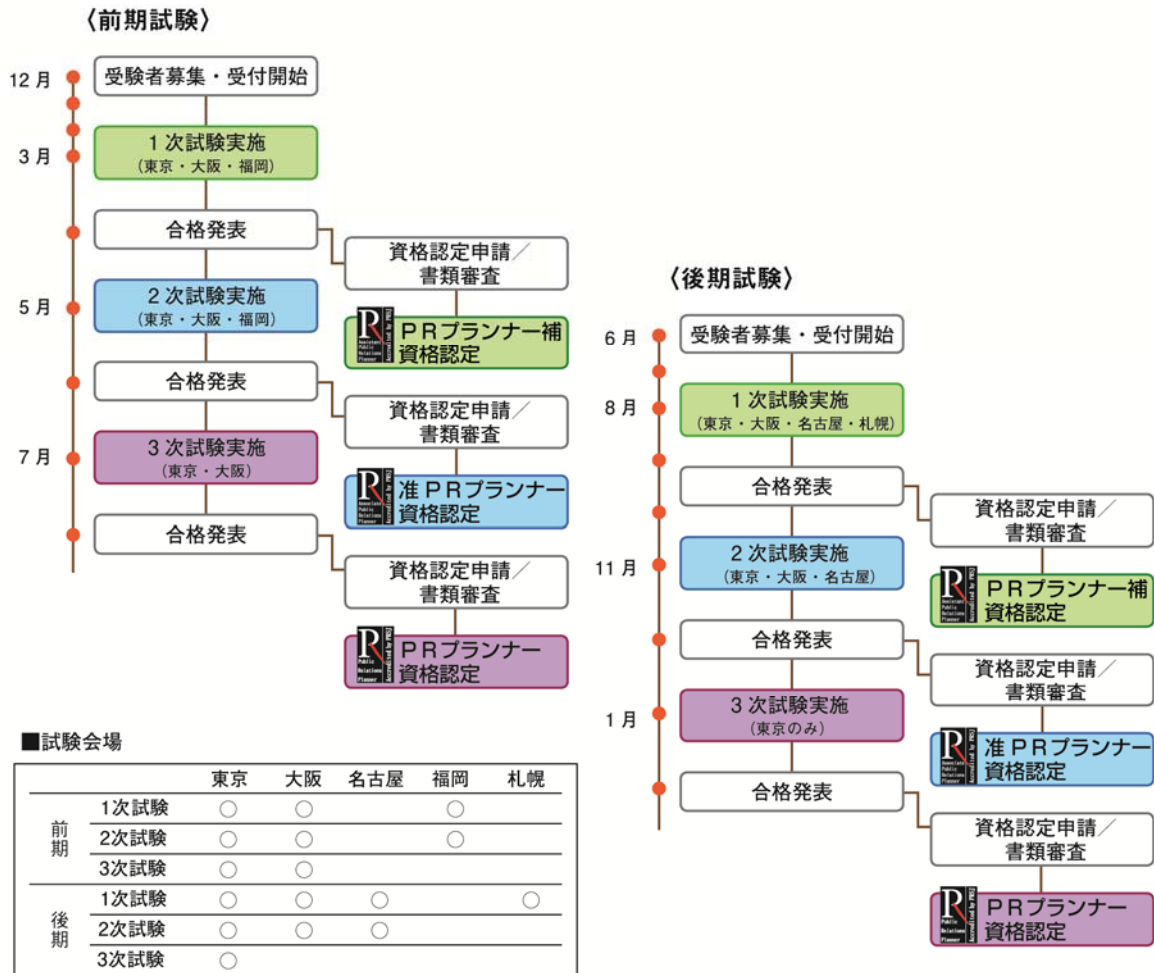
前期試験：3月実施、会場：東京・大阪・福岡  
後期試験：8月実施、会場：東京・大阪・名古屋・札幌

### ○2次試験

前期試験：5月実施、会場：東京・大阪・福岡  
後期試験：11月実施、会場：東京・大阪・名古屋

### ○3次試験

前期試験：7月実施、会場：東京・大阪  
後期試験：1月実施、会場：東京のみ



※上記スケジュールと会場は、変更する場合がございます。  
※スケジュールと試験会場の詳細につきましては、Webサイトをご参照ください。

## ◇受験者、合格者、合格率

### ○1次試験 ※第1回～第18回累計

受験者：7,759名 合格者：5,761名 合格率：74.2%

### ○2次試験 ※第1回～第17回累計

受験者：3,744名 合格者：2,763名 合格率：73.8%

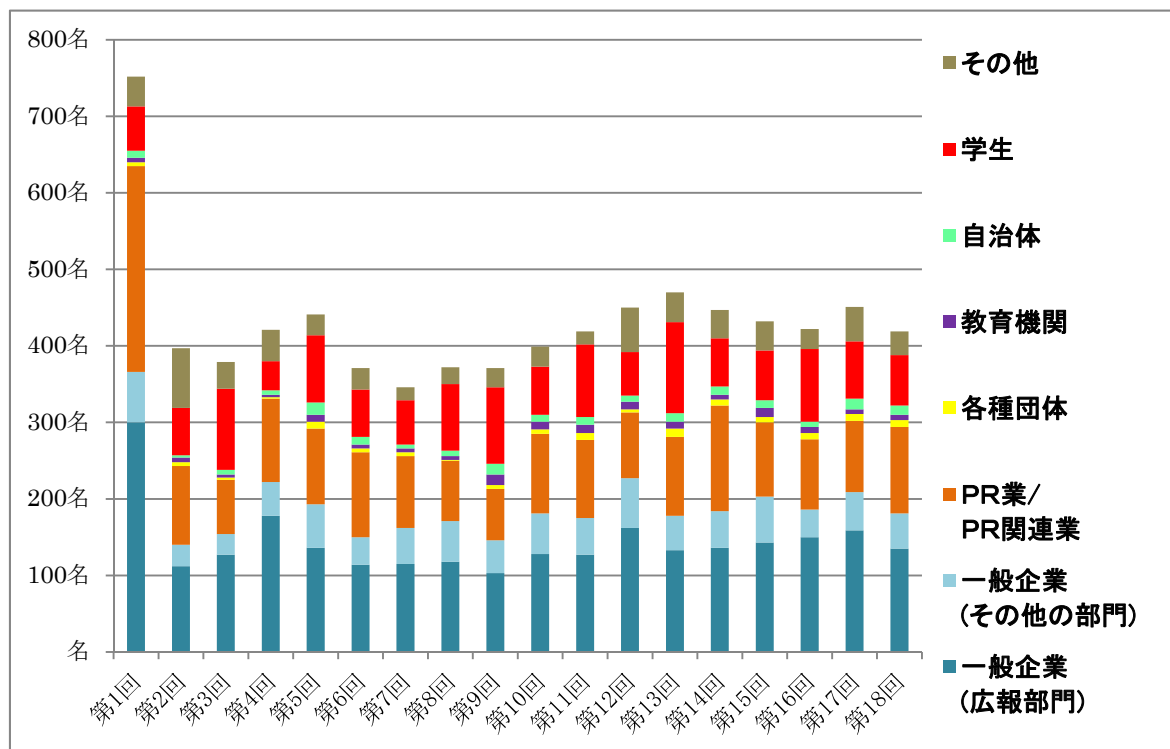
※上記は4科目一括のみの受験者数・合格者数となりますので、実際に2次試験4科目に合格されている方の総数は上記を上回ります。

### ○3次試験 ※第1回～第17回累計

受験者：3,045名 合格者：2,053名 合格率：67.4%

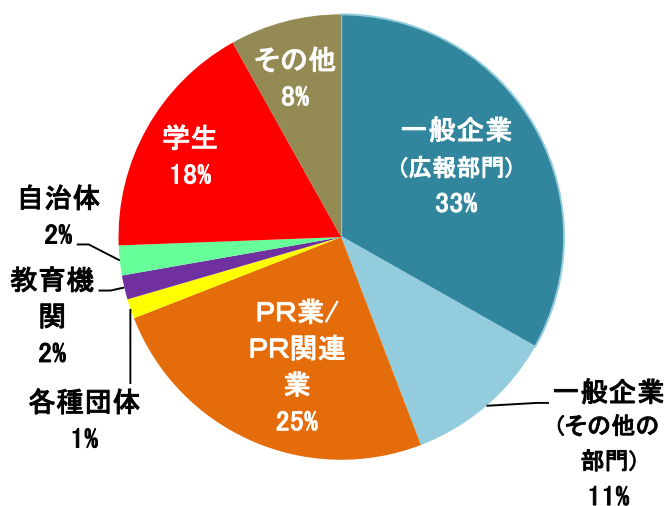
## PRプランナー資格認定検定試験受験者プロフィール

### ◇1次試験受験者プロフィール

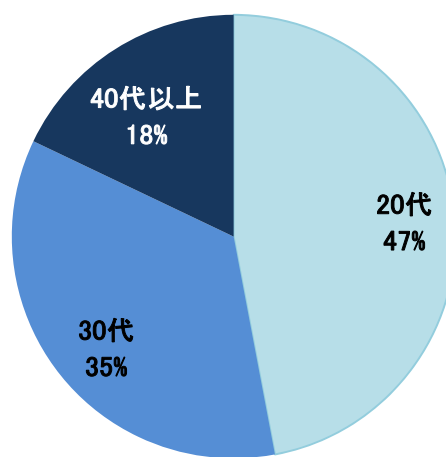


※第1回1次試験(2007年9月実施)～第18回1次試験(2016年3月実施)の推移。

### 受験者の業種別属性



### 受験者の年代別属性

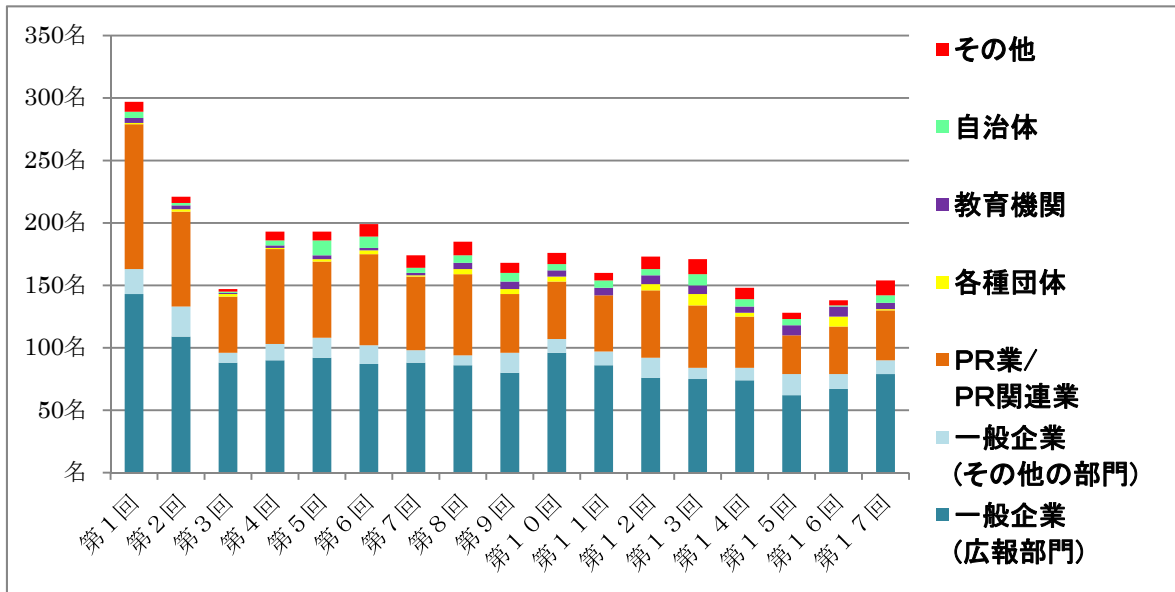


### 受験者の年代・性別 属性(%:受験者全体割合)

	20代 (%)	30代 (%)	40代以上 (%)	全体 (%)
男性	1,465名 (18.9%)	1,388名 (17.9%)	864名 (11.1%)	3,717名 (47.9%)
女性	2,183名 (28.1%)	1,332名 (17.2%)	527名 (6.8%)	4,042名 (52.1%)
全体	3,648名 (47.0%)	2,720名 (35.1%)	1,391名 (17.9%)	7,759名 (100.0%)

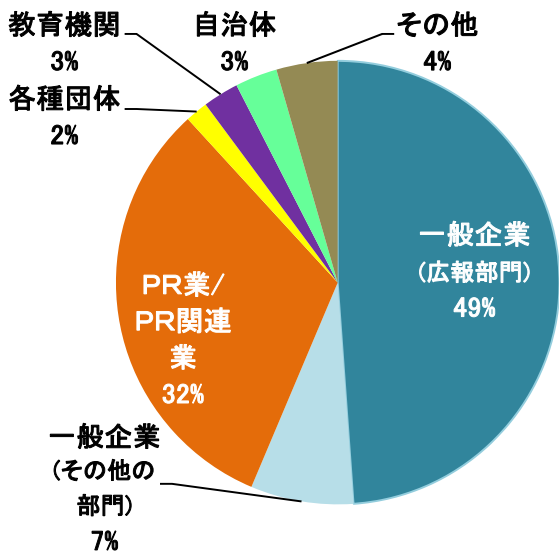
※第1回1次試験(2007年9月実施)～第18回1次試験(2016年3月実施)の統計。

◇3次試験受験者プロフィール

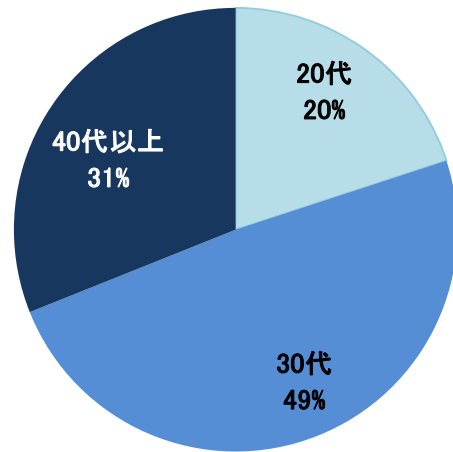


※第1回3次試験（2008年1月実施）～第17回3次試験（2016年1月実施）の推移。

受験者の業種別属性



受験者の年代別属性



受験者の年代・性別 属性(%:受験者全体割合)

	20代 (%)	30代 (%)	40代以上 (%)	全体 (%)
男性	270名 (8.9%)	791名 (26.0%)	638名 (21.0%)	1,699名 (55.8%)
女性	338名 (11.1%)	700名 (23.0%)	308名 (10.1%)	1,346名 (44.2%)
全体	608名 (20.0%)	1,491名 (49.0%)	946名 (31.1%)	3,045名 (100.0%)

※第1回3次試験（2008年1月実施）～第17回3次試験（2016年1月実施）の統計。

## 日本パブリックリレーションズ協会(略称:日本PR協会)について

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会(略称:日本PR協会(PRSJ))は、1964年に結成された日本PR協会と1974年に設立された日本PR業協会が1980年に合併統合され、時代に即したPRの在り方の探求とPRの啓発・普及を図るために設立されました。

現在は、一般企業の広報部門、PR業およびPR業関連会社、それに有識者を含む525名で組織されているPRのプロフェッショナル団体です。2012年4月には公益法人の認定を受け、公益社団法人となりました。

主要な事業としては、「各種研修」「セミナー」などの教育事業、会員相互の交流事業、年鑑「PR Yearbook」や会員誌「協会ニュース」、PRにかかわるデータを網羅した「PR手帳」などの出版事業、優れたPR事例を顕彰する「PRアワードグランプリ」、傑出したPRパーソンを表彰する「日本PR大賞 PRパーソン・オブ・ザ・イヤー」及び広く社会や地域の発展に寄与し奨励に値する成果を収めた人物を表彰する「日本PR大賞 PRシチズン・オブ・ザ・イヤー」の運営などを行っており、これらの活動を通じて「パブリックリレーションズ」の普及と啓発、広報・PRスキルの向上、倫理の徹底を推進しています。

2007年よりは、PRパーソンとしての知識やスキル、職能意識を認定する「PRプランナー資格認定制度」をスタートさせ、協会内外のPRパーソンや、PRに興味を持つ学生など幅広い人々に「PRプランナー」などの資格を付与しています。

新たに2009年10月から時代の要請に応える広報・PR人材育成センターを目指し、実務能力の向上を目的とした「広報PRアカデミー」を開講いたしました。

2010年4月には「広報・PR概論(PRプランナー資格認定制度1次試験対応テキスト)」、2011年3月には「広報・PR実務(PRプランナー資格認定制度2・3次試験対応テキスト)」を出版するなど、各種の事業をとおして広報・PRの普及と発展に寄与しております。

### 公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F

TEL : 03-5413-6760 FAX : 03-5413-2147